「生徒会の使命」を考え「生徒会活動の活性化」を図る

ネイパル厚岸

高等学校生徒会フォーラム

1　事業のねらい

高等学校の生徒会役員を対象に実践的な話し合いの方法や課題解決の手法を体験し、リーダーとしての資質の向上や生徒会活動の活性化を図る。

2　事業の概要

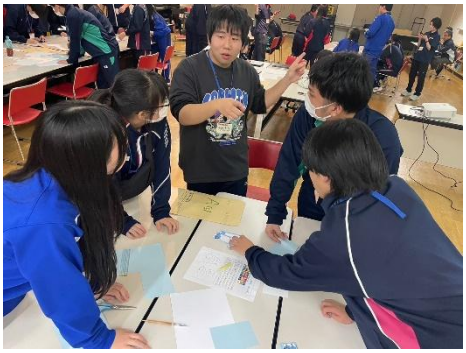
■期日　令和６年（2024）12 月５日(木)～６(金)　１泊２日
■対象　高等学校生徒会役員とその引率者
■人数　37 名
■場所　ネイパル厚岸
■協力　参加高等学校引率者

3　プログラム

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
1日目	JR 釧路駅発→厚岸駅着(11:15→12:03) 根室駅発→厚岸駅着(11:08→12:39)							受付	コミュニケーショントレーニング	【交流①】学校紹介	【講義①】生徒会の使命とは	夕食	【演習①】実践・交流	【交流②】参加者交流	就寝準備 入 浴		就寝
2日目	起床	荷物整理 朝 食	清 掃 部屋点検	【演習②】課題把握 企画発信	【演習③】実践・交流	【講義②】合意形成 意思決定	昼食	振り返り 閉会式	JR 厚岸駅発→釧路駅着(15:04→15:56) 厚岸駅発→根室駅着(14:20→15:57)								

4　ねらいを達成するための活動の工夫

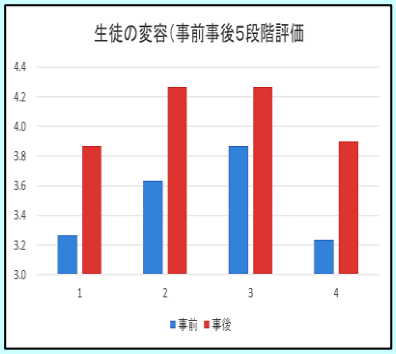
■生徒会活動の活動過程を、ゲームを通して体験できるようにする
・「課題把握」「合意形成」「役割分担」「実行」「評価」の実践的な生徒会活動の過程を、SDGｓの目標を踏まえた貿易ゲームを通して体験できるようにした。また、「学校生活の充実と向上を図る」という生徒会の使命を常に考えながら活動できるように、講義や演習と日常が結びつくようにプログラムを構成した。
■リーダーとしての資質向上を図るためのグルーピング
・計画力、交渉力、コミュニケーション力を育成するため、他校生との協働作業や交流ができるクループ編成とした。集団の中でリーダーシップが発揮できるよう、自己決定、合意形成の考え方の共通理解を図った後に、グループ活動を行った。



主体的に課題解決を目指す体験活動

課題を見出し、合意形成を図るためのグループ活動

5　事業の評価



■参加者アンケートから
５段階評価で事前事後の変容を検証した結果、グラフ１はリーダーシップの変容として 0.6P、グラフ２はプランニングの変容として 0.7P、グラフ３はネゴシエーションの変容として 0.4P、グラフ４はコミュニケーションの変容として 0.7P の向上がみられた。
■参加者の感想
・相手と交渉し、納得させる楽しさを知ることができた。
・自分の考えを相手に伝えることは大切なことだと感じた。

グラフ１「自分の意見を相手に伝えることができる」グラフ２「様々な情報源から情報を集め、それを活用することができる」
グラフ３「交渉相手の感情を逆なでせずに、合意に達することができる」グラフ４「相手が納得できるように話すことができる」

6　ねらいを踏まえた成果と課題

●生徒会活動の活動過程を体験する貿易ゲームを、「試しのゲーム」「課題解決を目指したゲーム」の２回に分け実施したことで、努力が成果として現れ達成感を得ることができ、生徒会活動の士気向上に繋がった。
○春に１次案内、秋に２次案内を行い、参加を募ったが、結果として５校の参加に留まってしまった。

企画のポイント

学校生活の充実と向上を図るため、生徒会活動の実践的な流れを、体験的な学びを通して、体系的に学ぶ